

浄水器内蔵キッチン水栓
オールインワン浄水栓

1. 施工の前に

安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客様に引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客様で保管頂くように依頼してください。

用語および記号の説明

注 意

「取扱を誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



「注意しなさい!」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)



「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)



「分解してはいけません!」



「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)



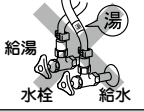
注 意



水道水および飲料可能な井戸水以外は使用しないでください。
※商品の内部腐食により、漏水の原因となります。
※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいいます。



湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをする恐れがあります。



給湯器の温度設定は85℃以上で使用しないでください。
※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。



衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。
※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。



修理技術者以外の人は水栓を分解したり、修理したりしないでください。
※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。



給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。
※正常な温度調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。



ヤケドの恐れがないところまで水圧変動を押えた配管設備にしてください。
※他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯音が急上昇しヤケドをする恐れがあります。



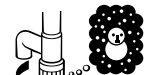
フレキホースの差し直しやストレーナーの掃除をする際は、必ず湯側水側の両方の止水栓を閉じてから行ってください。
※湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財等を濡らす財産損害発生 の恐れがあります。



【寒冷地用の場合】
水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。
※湯水が噴き出し、ヤケドや家財等を濡らす恐れがあります。



【寒冷地用の場合】
お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
寒冷地仕様の水抜き方法は、取扱説明書を参照ください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生 の恐れがあります。



本製品の仕様と条件

給湯器設定温度	85℃以下	使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水(※1)
使用環境温度	【一般地用】 0～40℃ 【寒冷地用】 -20～40℃		但し、内部の水を凍結させないでください。
給水給湯接続	G1/2		
圧力条件	0.05MPa(流動時)～0.75MPa(静止時)(※2) 給水圧力 ≥ 給湯圧力(※3)		
取付条件	水栓取付穴: φ35～φ39mm、カウンター厚: 6～30mm		

- ※1：飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいいます。
- ※2：水栓金具が接続された状態での水栓金具の給水・給湯接続部直前の圧力です。
- ※3：給湯圧力が給水圧力よりも高い場合、正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。

JF-AB466SYX型
JF-AC466SYX型

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客様に必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客様にお渡しください。

その他の条件

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で適正圧力（0.20～0.34MPa）に減圧してください。
- 給湯に蒸気は使用できません。
- 給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
- 不意の出湯によるヤケド防止のため、**給湯器の設定温度は60℃以下**をおすすめします。
- ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合、給湯器の能力・水圧などの条件により給湯器が点火しないことがあります。
- 貯湯式電気温水器は減圧弁にて給水圧力を減圧しているため、湯の流量が少なくなる可能性があります。LIXIL製の貯湯式電気温水器と組み合わせてご使用の場合は、弊社ホームページで組合せ表をご確認ください。

施工前のご注意

取付けに必要な工具

- 取付けにはプラスドライバー、マイナスドライバー、モンキーレンチ（呼び250以上）、スパナ（対辺8）、プライヤーが必要です。

止水栓と点検口を設けてください。

- 取付後の流量調節及び保守点検のために、必ず止水栓（別売）と点検口を設けてください。
- 使い勝手や性能発揮のために、**流量調節をしてください。**特に水圧が高い場合など、流量調節がされていないと漏水・破損の恐れがあります。

補強材を使う場合

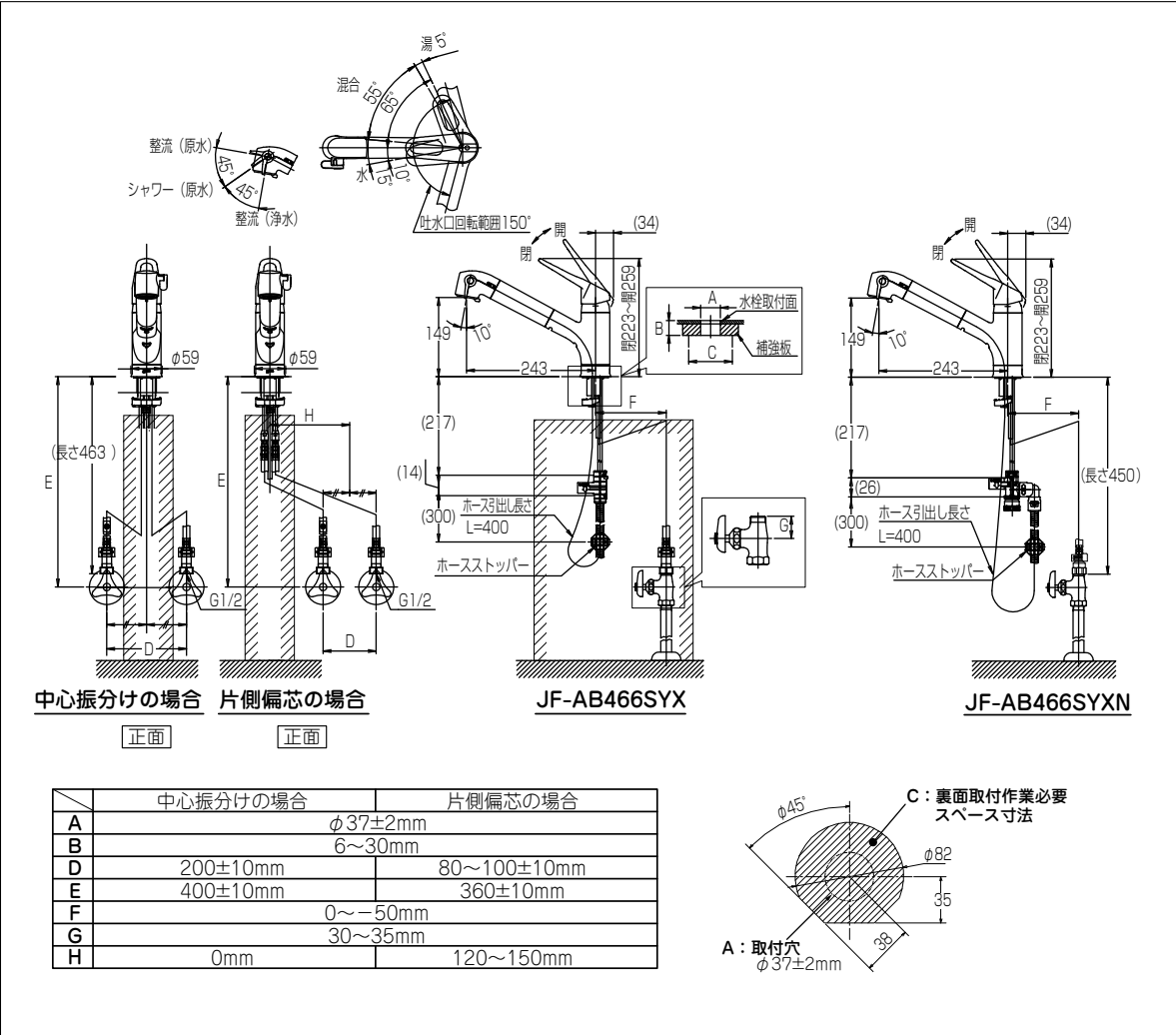
カウンター裏面に補強材を使う場合は、木製のボードを使用してください。珪酸カルシウム板は使わないでください。本体が正しく固定できないことがあります。
やむをえない事情で珪酸カルシウム板を使用する場合は、別売のA-3811を使用し取り付けてください。

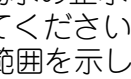
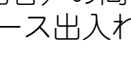
その他の注意点

- 給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確認してください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
- 給湯配管はできるだけ短くし、必ず保護材を巻いてください。
- 商品の表面には直接工具を掛けしないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
- 開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分に注意してください。
- 必ず **配管中の異物を完全に洗い流してください。**

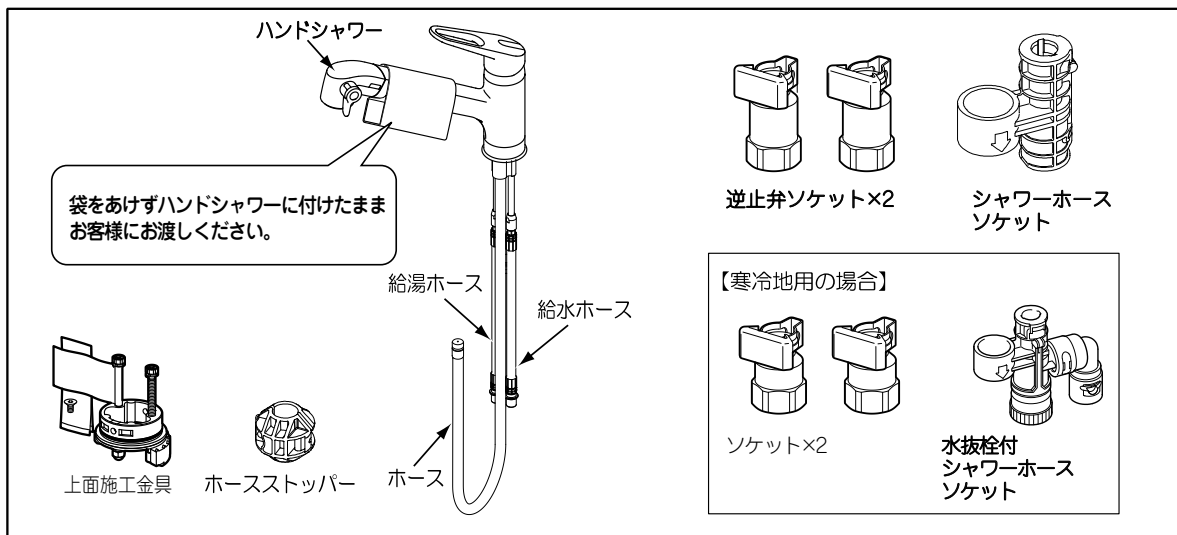
施工完了図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

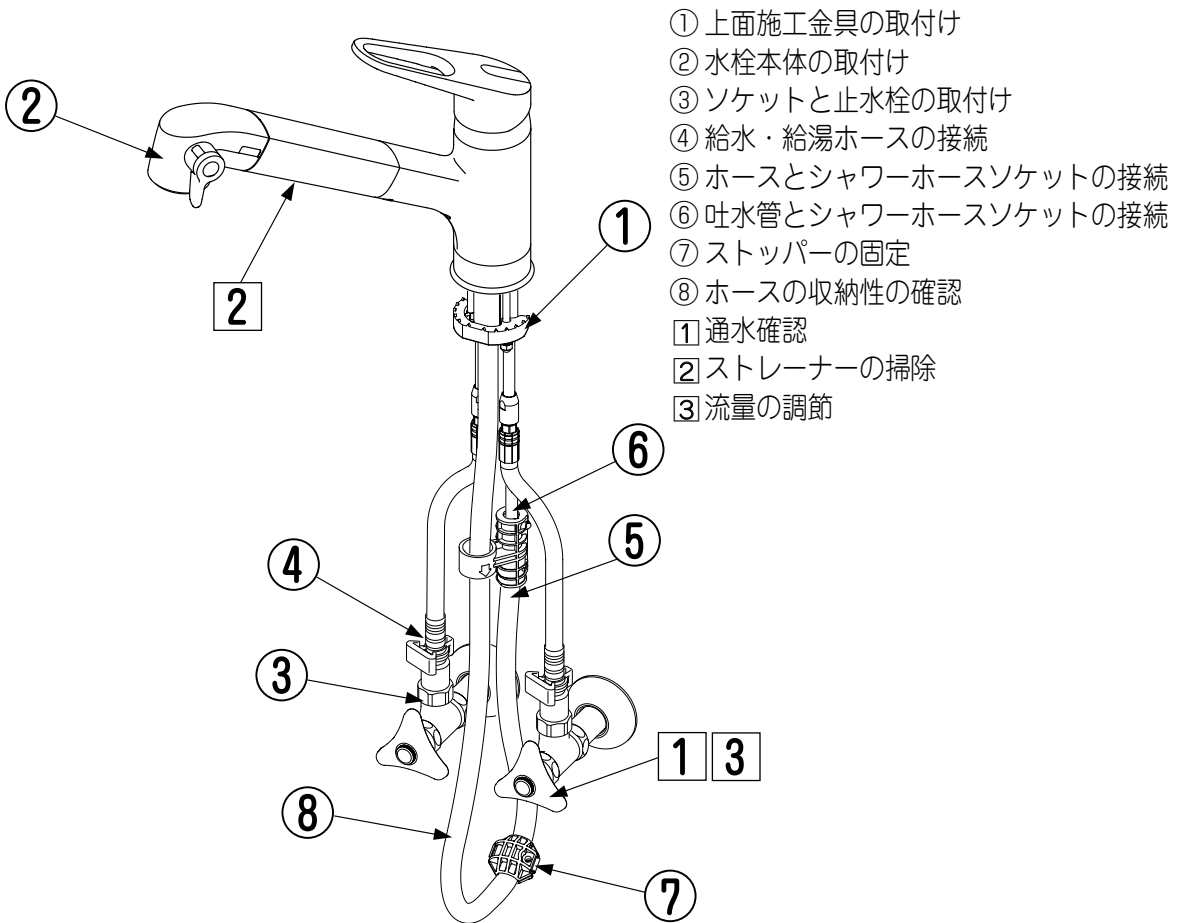


※湯水の止水栓（配管）の間の範囲（部）には、分岐配管や障害物がないようにしてください。ホース出入れの障害になります。（部）はおおよそのホース取り回し範囲を示します。

部品の確認



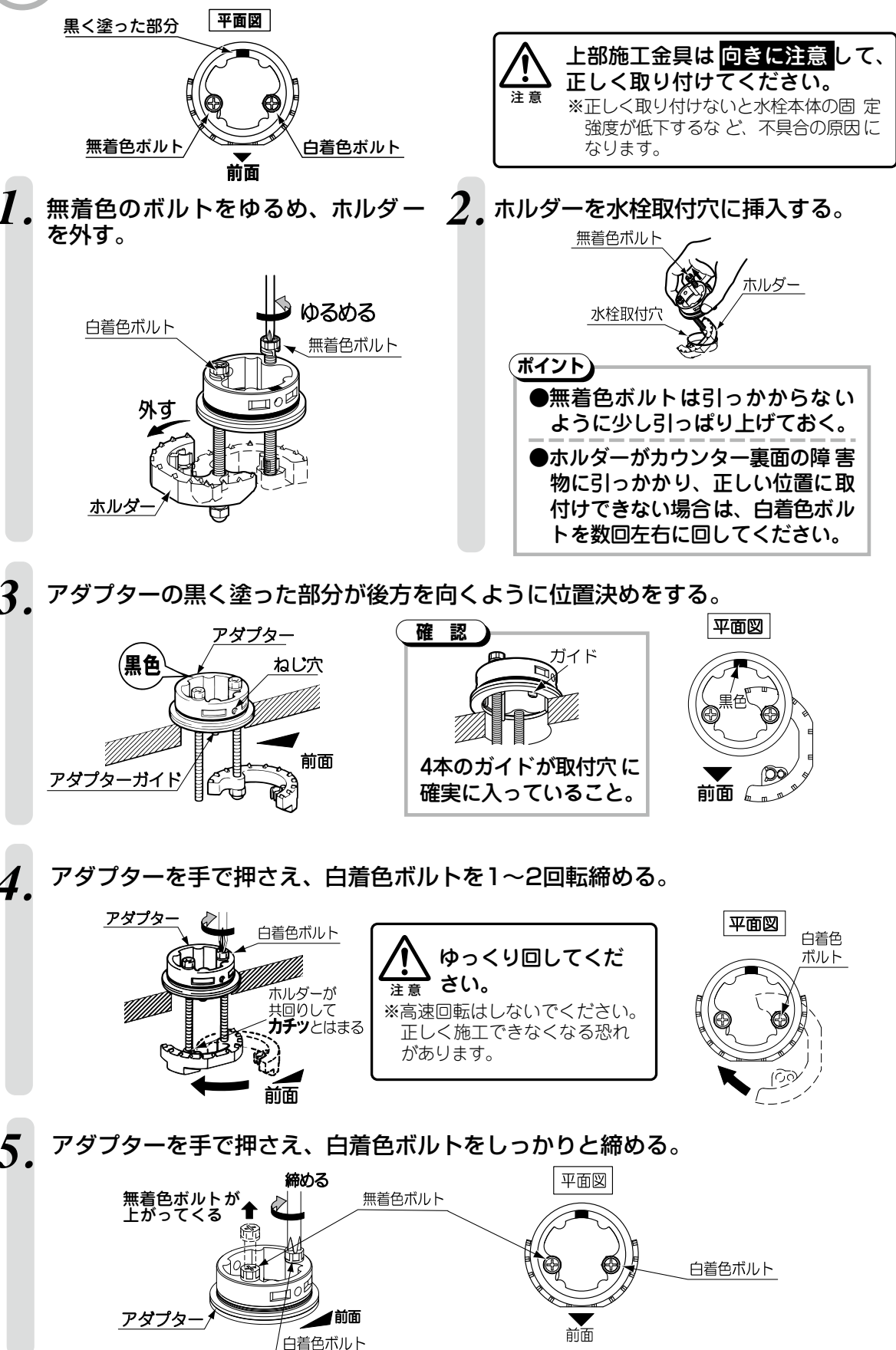
施工手順



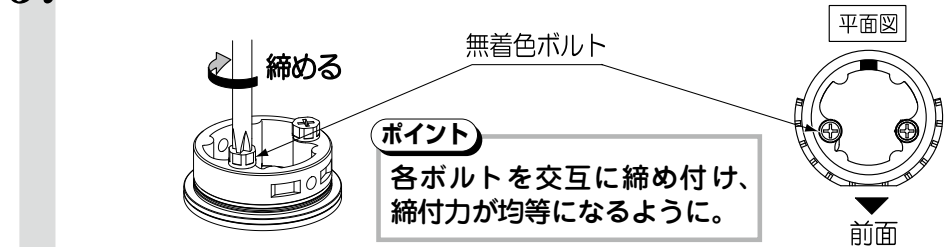
2. 施工方法

以下の手順通り、正しく取り付けてください。

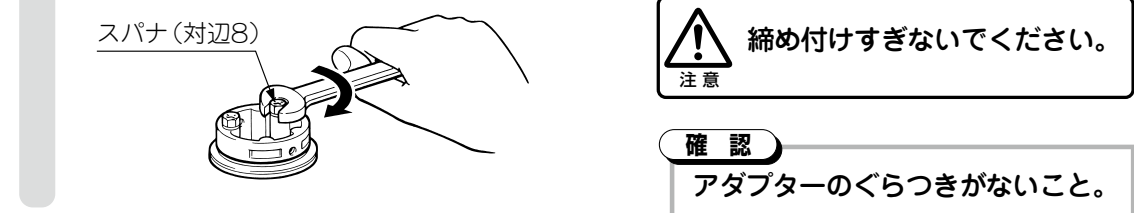
1. 上面施工金具の取付け



6. 無着色ボルトをしっかりと締める。

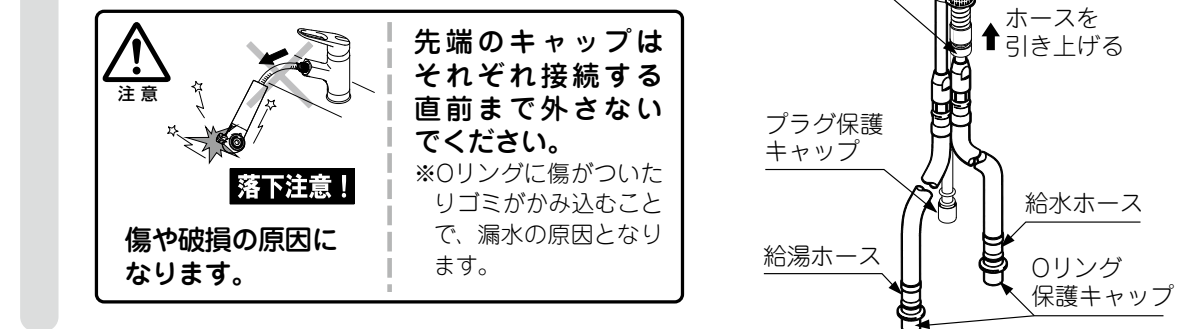


7. スパナでそれぞれのボルトを約1/2回程度増締める。

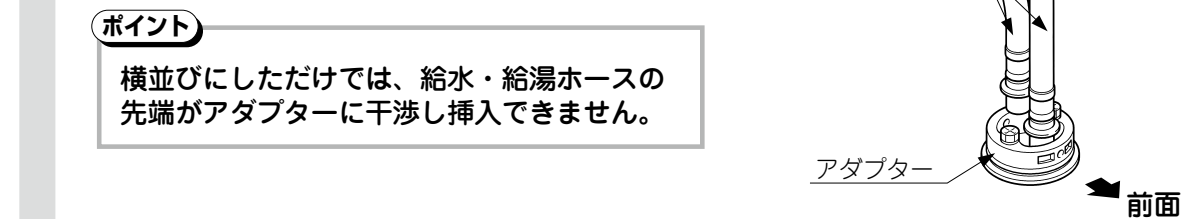


2 水栓本体の取付け

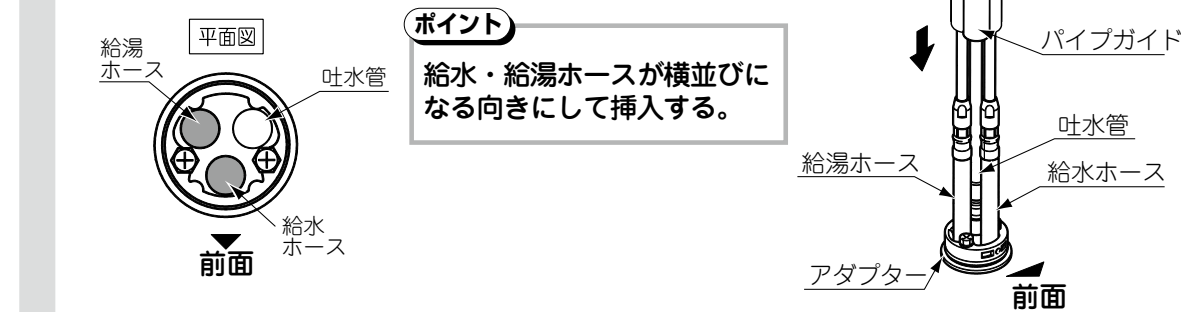
1. ホースの先端がパイプガイドの中にかくれるまで引き上げる。



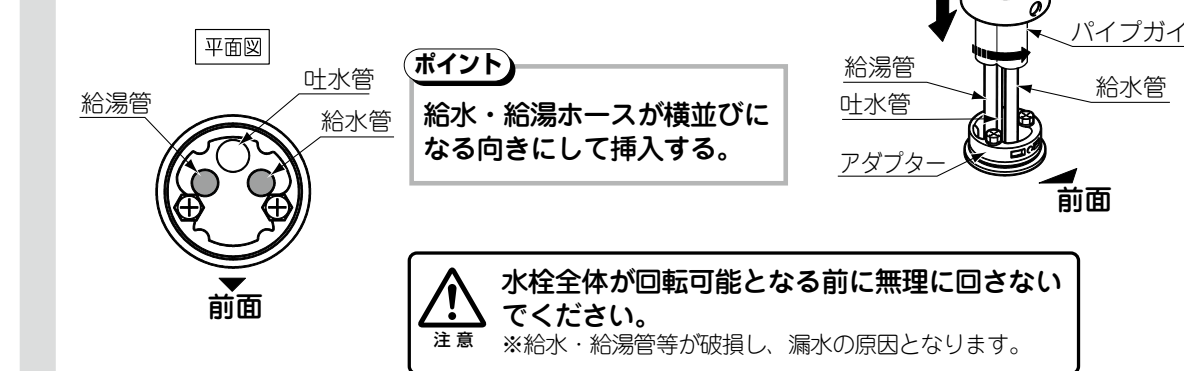
2. 給水・給湯ホースの先端を横並びにし、さらに上下にずらしてアダプターに挿入する。



3. パイプガイドがアダプターに当たる直前までは、アダプターの内側全体を使って挿入する。



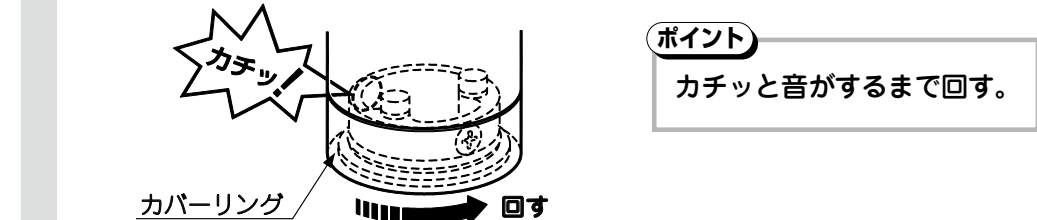
4. パイプガイドがアダプターに当たる手前で水栓全体を回し、挿入する。



5. カバーリングの穴、水栓本体の穴、アダプターの穴の全てをそろえて皿小ねじで固定する。

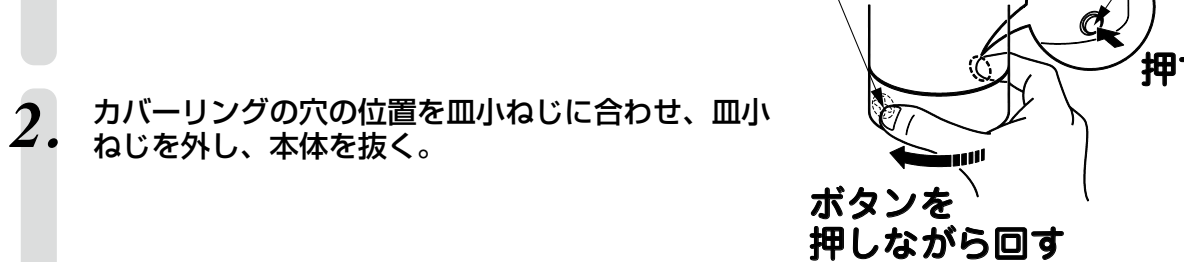


6. カバーリングを180°回転させ、穴を後ろに回す。



〔水栓本体の取り外し方〕

1. カバーリング背面のボタンを押しながらカバーリングを180°回す。

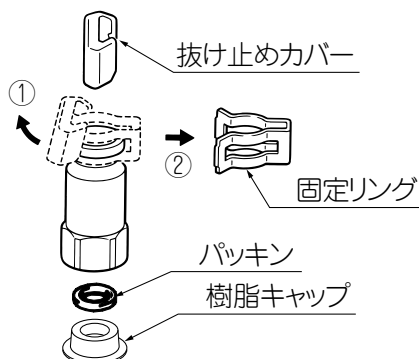


3 ソケットと止水栓の接続

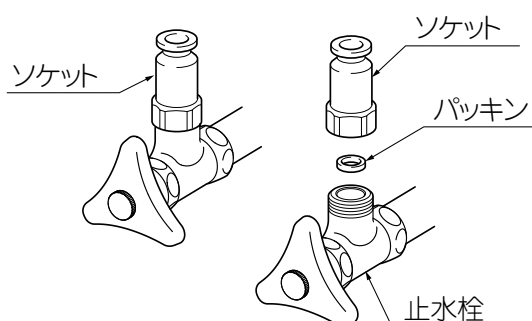
1. 抜け止めカバー、固定リング、樹脂キャップを取り外す。

注意

パッキンの紛失に注意してください。
※漏水の原因となります。

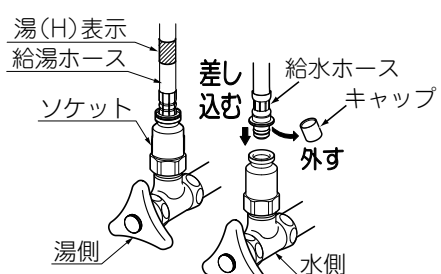


2. ソケットを止水栓に固定する。



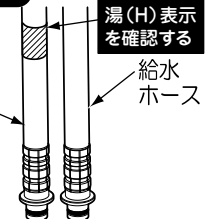
4 給水・給湯ホースの接続

1. 給水・給湯ホースをソケットに差し込む。



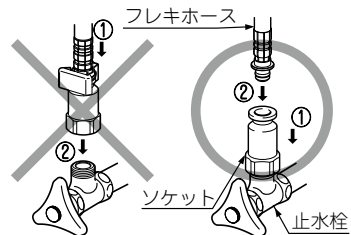
注意

給水・給湯ホースの
差し間違いに注意して
ください。



注意

必ずソケットを止水栓に固定してから
給水・給湯ホースを接続してください。



ポイント

Oリングに傷をつけない、ゴミが入らないよう
注意してください。
※漏水の原因となります。

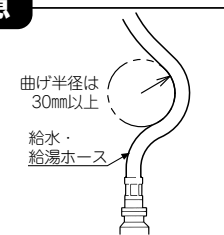
ポイント

ホースが挿入しにくい場合は、ハンドルを開
けた状態で施工する。

2. 固定リングと抜け止めカバーをはめ込む。

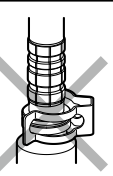
注意

ホースを曲げる場合は、
曲げ半径30mm以上
確保してください。
※漏水の原因となります。



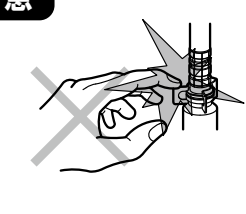
注意

はめ損ねに注意してください。
※固定リングが外れると漏水の原
因になるので、必ずしっかりと
はめ込んでください。



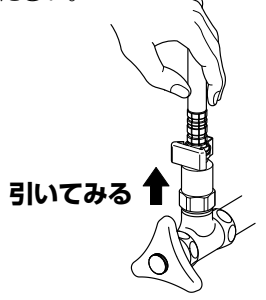
注意

抜け止めカバーは
はめたままにして
ください。
※直接固定リングに
触れるとケガをする
恐れがあります。



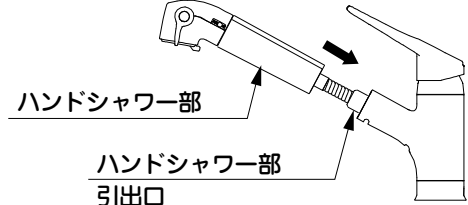
確認

確実に接続されていること。
※接続後に固定リングを回し、確実に
はまっていることを確認してくだ
さい。
※給水・給湯ホースを上に取り、確
実に接続されていることを確認して
ください。



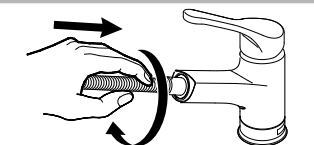
5 ホースとシャワーホースソケットの接続

1. ハンドシャワー部をハンドシャワー部引出口に納める。

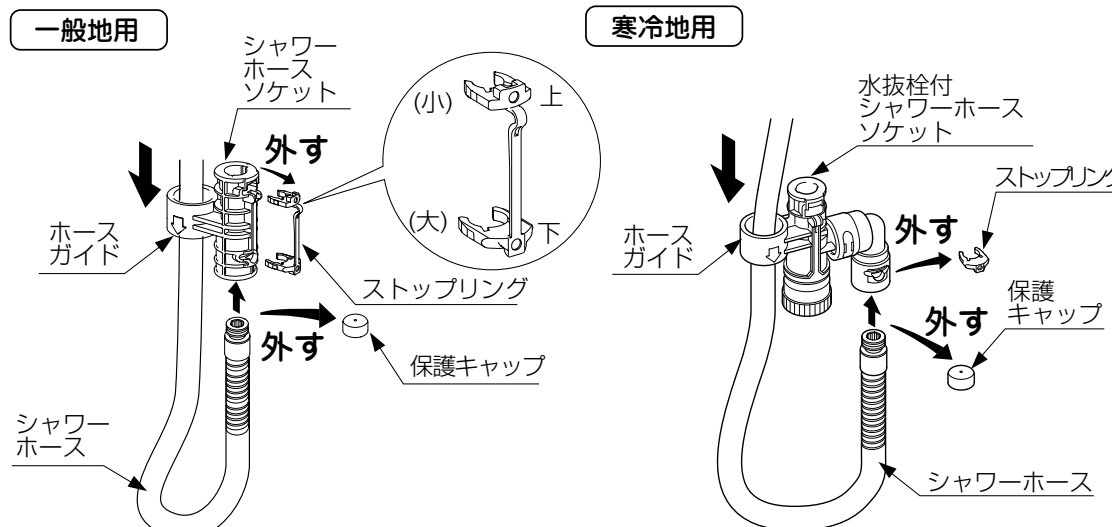


ポイント

ホースが抜けて入れに
くい場合は、ホースを
押しながら回転させる。



2. シャワーホースをホースガイドを通して、シャワーホースソケットに差し込む。

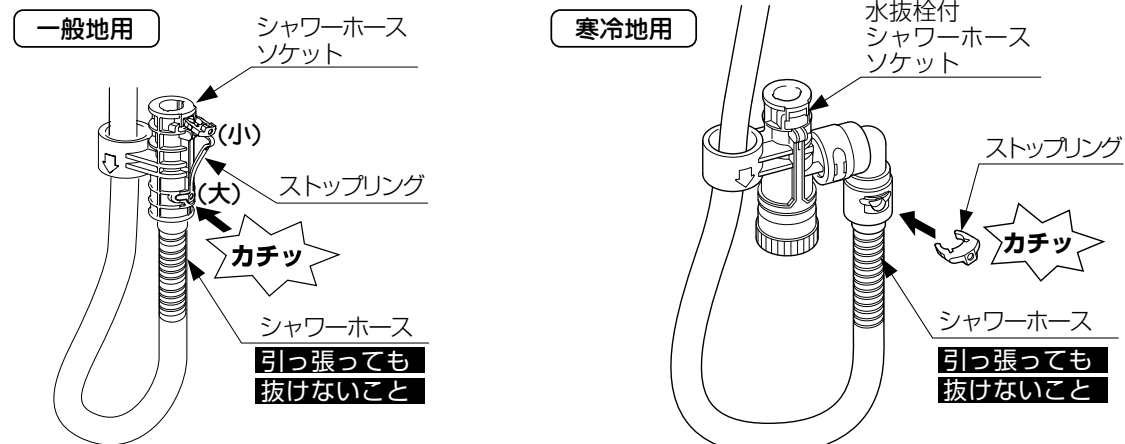


ストップリングを紛失しないように注意してく
ださい。
※シャワーホースが固定できず、漏水の原因となります。

ポイント

シャワーホースは奥ま
でしっかりと差し込む。

3. ストップリングをシャワーホースソケットに差し込んだ後、シャワーホースを引っ張っても抜けないことを確認する。

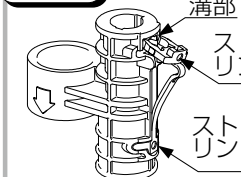


ストップリングは、しっかりとめ込んでください。
※ストップリングが外れると漏水の原因となります。

ポイント

シャワーホースを引っ張っても抜けないこと。

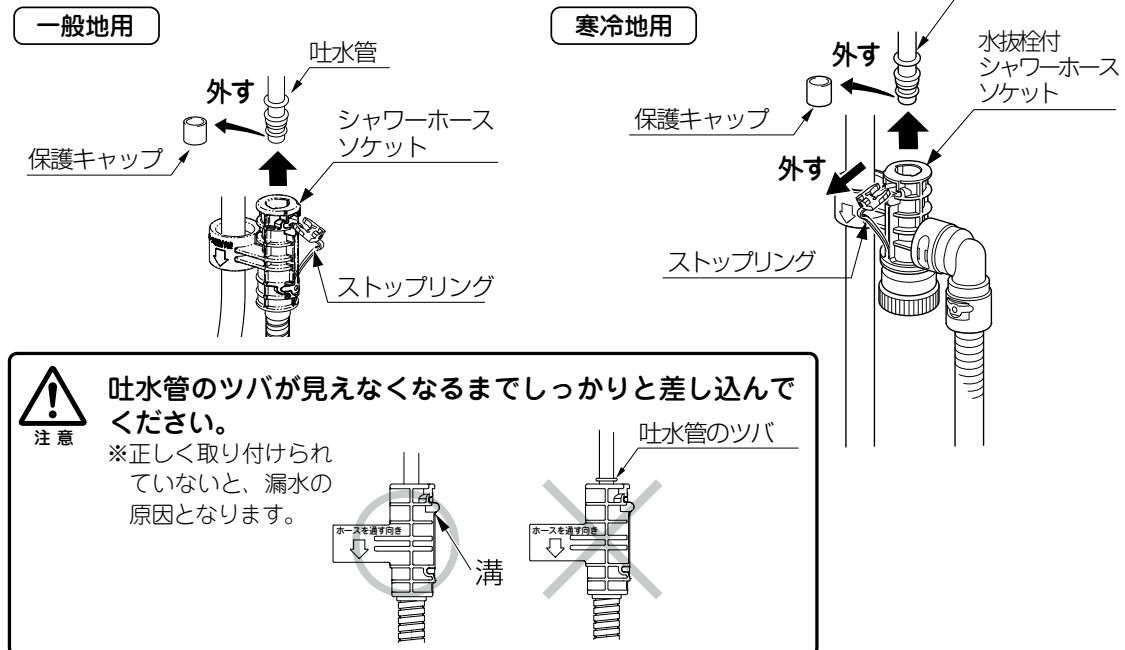
ポイント



あらかじめストップリング (小)
をソケット溝部に設置しておく
と、取付作業が容易になります。

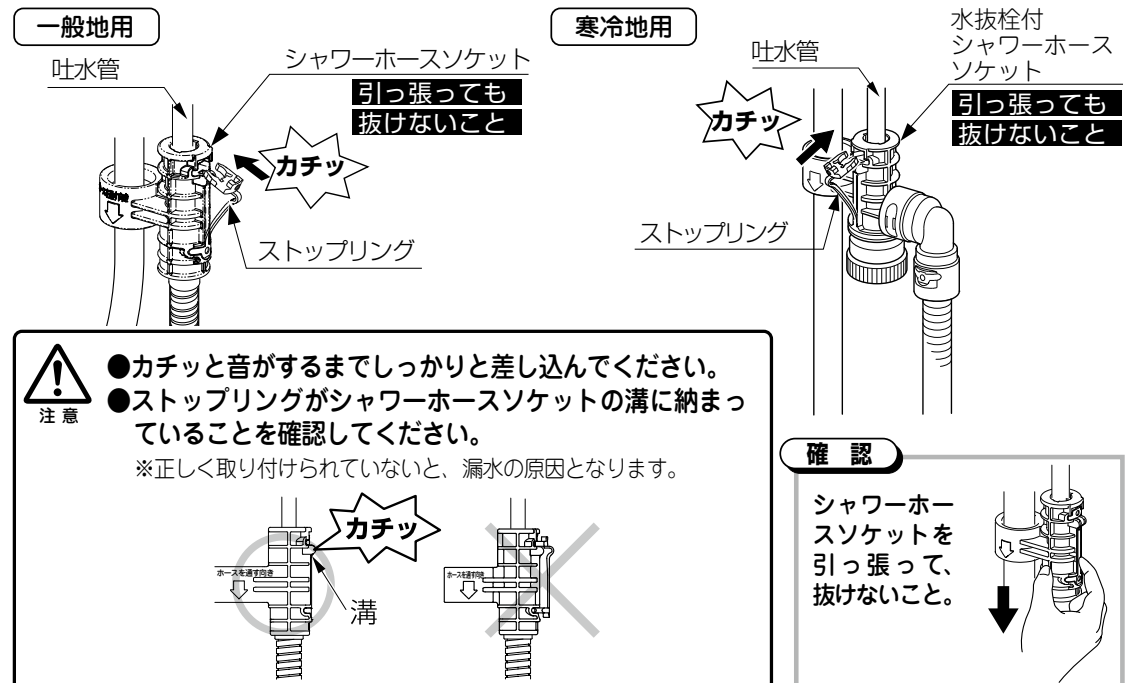
6 吐水管とシャワーホースソケットの接続

1. シャワーホースソケットを吐水管に差し込む。



吐水管のツバが見えなくなるまでしっかりと差し込んで
ください。
※正しく取り付けられて
いないと、漏水の
原因となります。

2. ストップリングをシャワーホースソケットに差し込んだ後、シャワーホースソケットを引っ張っても抜けないことを確認する。



●カチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
●ストップリングがシャワーホースソケットの溝に納ま
っていることを確認してください。
※正しく取り付けられていないと、漏水の原因となります。

確認

シャワーホ
ースソ
ケットを
引っ張
って、
抜けない
こと。

7 ストッパーの固定

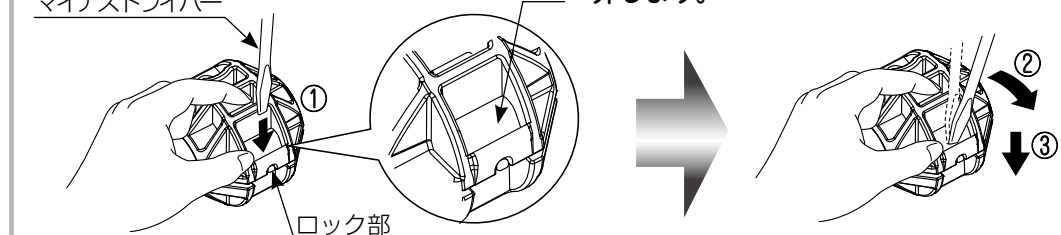
ストッパーをテープを覆うように取り付ける。

ポイント

ハンドシャワーは吐水口に納めた状態で行う。

ポイント

ストッパーの外し方
1. ストッパーを指で押さえます。ロック部
の溝に、マイナスドライバーを矢印①の
方向に差し込みます。
2. 差込んだマイナスドライバーを矢印②の
方向に傾けます。
3. マイナスドライバーを矢印③の方向に押
し込んでロックを解除し、ストッパーを
外します。

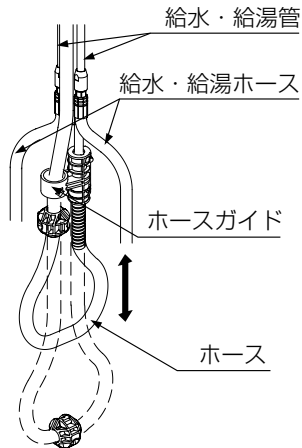


ホースの収納性の確認

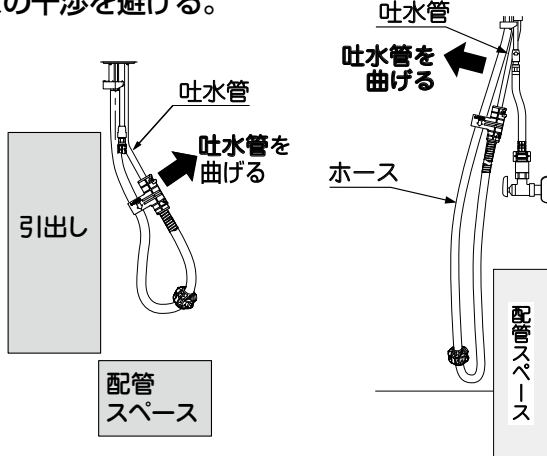
1. ハンドシャワーを出し入れし、ホースが、給水・給湯ホースや他の配管等と干渉せずにスムーズに上下に動くことを確認する。

ポイント

- ホースがねじれていない状態で、給水・給湯ホースと干渉する場合は、給水・給湯管を、軽く曲げてホースの干渉を避けてください。
- ホースが他の配管等と干渉し、ホースがスムーズに上下しない場合は、ホースガイドを回転させて、ホースとの干渉を避けてください。

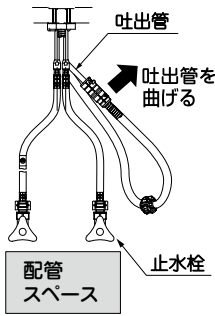


2. ホースが引出し、配管スペース、止水栓などに干渉する場合、吐水管を軽く曲げて、ホースの干渉を避ける。



確認

ホースがスムーズに上下に動くこと。



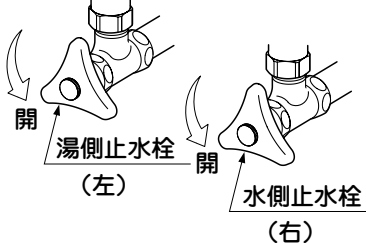
3. 施工後の調整

以下の手順通り正しく調整してください。

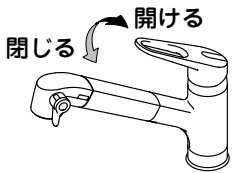
通水確認

通水確認を以下の要領で行ってください。

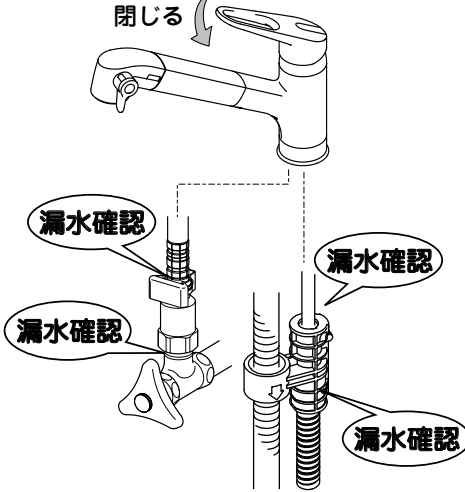
1. レバーハンドルが閉じていることを確認し、給水・給湯の止水栓を開く。



2. 水側・湯側それぞれの位置でレバーハンドルを開け、通水確認する。

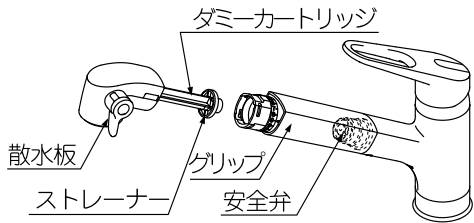


3. レバーハンドルを閉じ、接続部からの漏水がないか確認する。



ストレーナーの掃除

初期通水のコミを取り除くため、以下の要領で、ストレーナーの掃除を行ってください。ストレーナーはダミーカートリッジについています。



散水板は外さないでください。

注意

ダミーカートリッジを正しく装着してください。
※グリップ奥の安全弁が作動し水が出にくくなります。

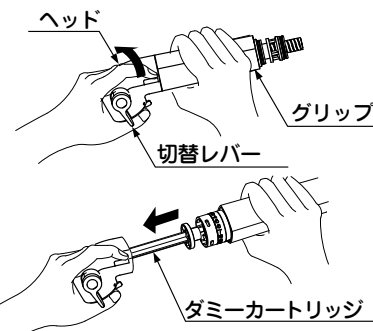
1. グリップを押えて、ヘッドを左に（25度）回して引き抜き、ダミーカートリッジを外す。



切替レバーに無理な力をかけないこと。

注意

2. ダミーカートリッジのストレーナーについてのコミを掃除する。



3. ダミーカートリッジをグリップに差し込む。



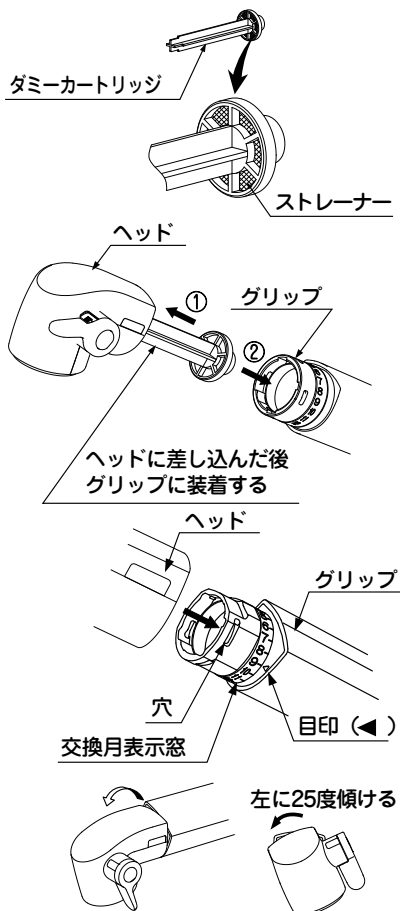
付属の浄水カートリッジ（カートリッジ袋内）は、お客さまご自身が初めてご使用になる際につけていただくので、引渡前に装着しないでください。

注意

4. ヘッドをグリップに差し込む。

ポイント

ヘッドをグリップに左へ25度傾けてしっかり奥まで差し込む。



5. ヘッドを右に（25度）回し、取り付ける。

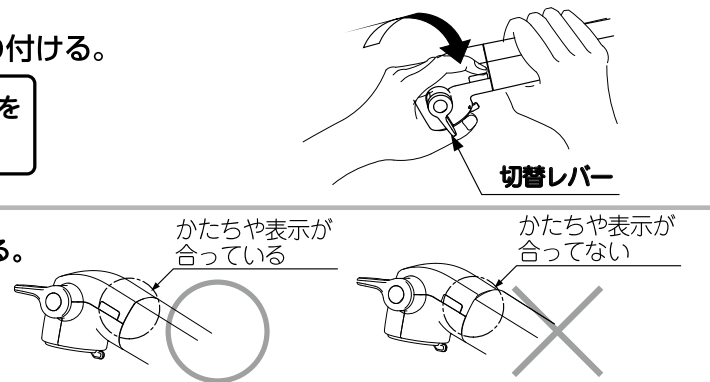


切替レバーに無理な力をかけないでください。

注意

ポイント

最後まで回ったことを確認する。

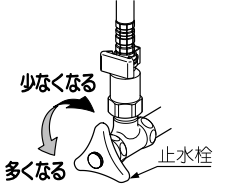


流量の調節

水圧が高い場合は、レバーハンドルを全開にしたときのシャワーの流量が湯と水でそれぞれ8L/min（1リットルの容器をいっぱいにするのに約9秒）以下になるよう止水栓で流量調節をしてください。

ポイント

以下の場合は、水圧が高く過剰流量になっていることが考えられます。
(1) 浄水とシャワーがうまく切り替わらない。
(2) 切替レバーの表示と異なる箇所から水が出る。



4. 引渡前の確認

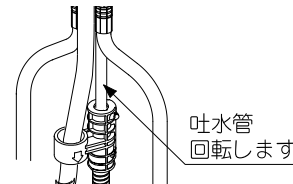
引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

現象	点検内容	点検箇所	処置
流量が少ない	圧力は十分か？		「本製品の仕様と条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？		抵抗となる障害物を取り除く。
	止水栓は十分開いているか？		止水栓を十分開く。
	ダミーカートリッジのストレーナーにゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
	ダミーカートリッジが入っているか？ 正しく取り付けられているか？		「ストレーナーの掃除」の項参照。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？	②	キズがあれば部品を交換する。
	ゆるみはないか？	③	カートリッジ固定ナットを締める。締め過ぎるとレバーハンドルの重くなる場合がありますので注意してください。
ハンドルが右側に回らない	ハンドルの操作位置は正しいか？	④	エコハンドル仕様のため、レバー操作範囲が従来のシングルレバーと異なります。（施工完了図参照）
切替レバーの表示と異なる箇所からも水が出る。			
浄水がコップから飛び出す。（水はねが多い）	流量調節はよいのか？		「流量の調節」の項参照。
使用中、レバーが自然に動く。			
希望の温度が得られない	ハンドルの操作位置は正しいか？	④	エコハンドル仕様のため、レバー操作範囲が従来のシングルレバーと異なります。（施工完了図参照）
	圧力は十分か？		「本製品の仕様と条件」の項参照。
	流量調節はよいのか？		「流量の調節」の項参照。
	ダミーカートリッジのストレーナーにゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
	水栓本体がガタつく レバーハンドルがガタつく	⑤ ⑥	ねじをしっかりと締める。
ホースがスムーズに収納できない	シンク内でホースがねじれたり、配管等と干渉していないか？		「ホースの収納性の確認」の項参照。

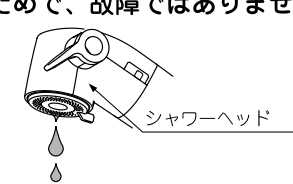
ポイント

故障ではありません。

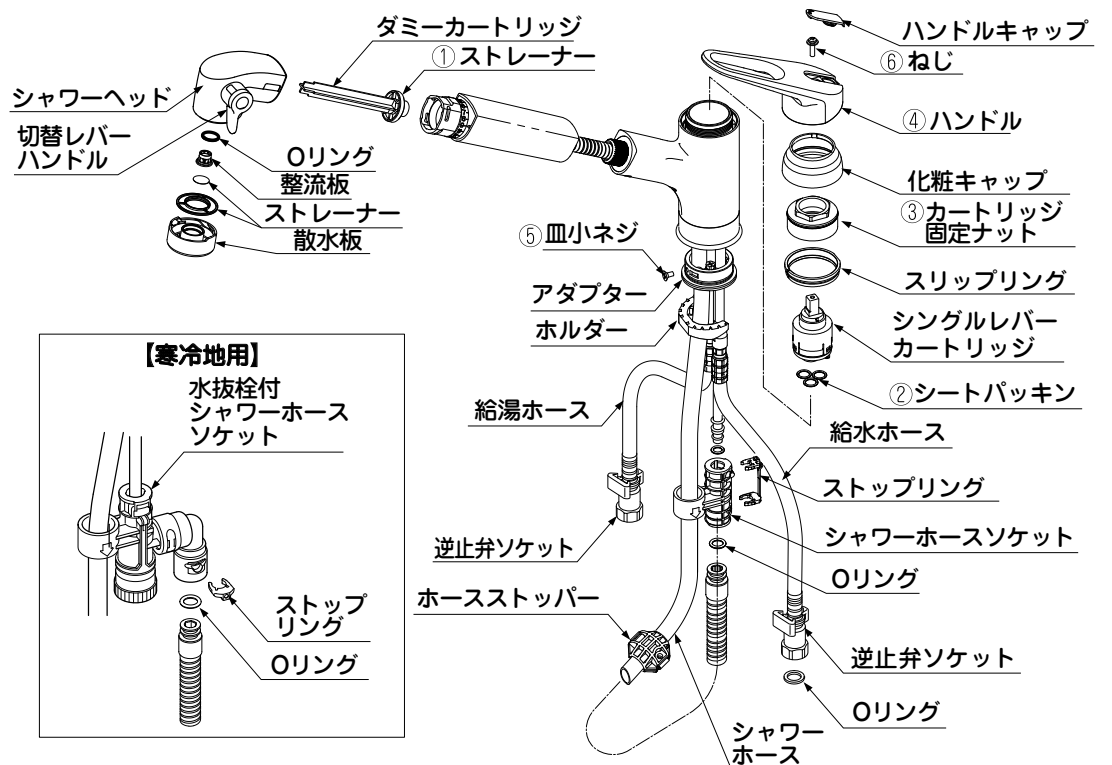
●この商品は吐水管が回転します。シャワーホースソケットと接続後も回転しますが、故障ではありません。



●水を止めた後に少しの間水が垂れますが、切替ユニット内部に溜まった少量の水が排出されるため、故障ではありません。



●この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しています。レバーハンドルを急に下げると抵抗感が発生し重く感じるがありますが、故障ではありません。



5. 引渡

水栓に浄水カートリッジの入った袋を付けたまま、お客さまに引き渡してください。

